



2022年2月10日

各位

会社名 株式会社アイリッジ
代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号: 3917 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 森田 亮平
(TEL. 03-6441-2325)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800 ~5,500	150 ~200	—	—	—
今回修正予想(B)	5,200	200	—	—	—
増減額(B-A)	400 ~△300	50 ~0	—	—	—
増減率(%)	8.3% ~△5.5%	33.3% ~0.0%	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年3月期)	4,363	113	122	12	1.88
対前期実績 増減率(%)	19.2%	77.0%	—	—	—

2. 修正の理由

2022年3月期業績予想については、前回発表時点において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって不透明な事業環境の継続が予想されることに加え、中長期的な売上高成長率の再加速に向けたさまざまな投資を、事業環境や投資機会、新規事業の進捗状況等に応じて、機動的かつ柔軟に実行していく予定にしているため、レンジでの見通し開示としていました。2022年3月期上半期においては、デジタル・フィジカルマーケティング領域のオフラインプロモーション関連を中心に、新型コロナウイルス感染症による業績への一定のマイナス影響が生じる想定をしており、レンジの上限値はそのマイナス影響が2022年3月期

上半期末にはほぼ生じていないことを、そして、下限値はその影響が期末まで続いていること等を主要な前提としていました。

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年12月31日まで）においては、オフラインプロモーション関連領域を中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続していますが、企業のDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進強化・デジタル投資の拡大を背景に、アプリ開発やアプリマーケティングを中心としたデジタルマーケティング領域の需要は堅調に推移し、売上高は3,964百万円（前年同期比27.2%増）、営業利益は201百万円（前年同期比1,515.5%増）となりました。

売上高については、2022年1月以降のオミクロン株の感染急拡大によるオフラインプロモーション関連領域へのマイナス影響が予想されるものの、当第3四半期連結累計期間において、前回発表の通期業績予想に対して順調に進捗しており、前回発表の予想レンジ内で修正しています。

営業利益については、上記売上高の影響に加え、来期（2023年3月期）以降の成長を見据えた先行投資を第4四半期に予定しているものの、当第3四半期連結累計期間の実績において前回発表の予想レンジ上限を超過しており、予想レンジ上限値に修正しています。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても黒字の計上を見込んでいますが、現在は中長期的な株主価値及び企業価値の最大化に向けて、積極的な投資を実行しているフェーズであり、一部の営業外損益等の合理的な見積りが困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により、当社の業績は大きく変動する可能性があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせします。

以 上